

# 二瀬通信

飯塚市立二瀬中学校

令和元年12月23日

文責 吉田 浩昭



今と未来をつなぐ二瀬中

## 収穫の2学期 広く、深くつながった

この2学期を振り返ってみますと「収穫の多い学期であった」と感じます。なぜなら生徒は様々な人とつながることができたからです。まず、**生徒同士**。授業では話し合い活動が増え、自分とは違う考えや意見とつながることができました。文化祭やクラスマッチといった行事で心と心をつなげることができました。

次に**外国の人や異文化**とつながることができました。具体的には、1年生の「外国の人と夢を語り合おう」2年生の修学旅行でのインタビュー、3年生の「地球に貢献する人から学ぼう」を通してつながることができました。さらに、これは「生徒が」というよりは「二瀬中学校が」キャリア教育の九州大会を通して**九州各県**の先生方とつながることができました。

そして、何より昨年度の2学期と違うのは、これらの活動が終わることに「キャリアの軸」に戻って、「どんなキャリアの力がついていたのか」、「自分がつきたいキャリアの力はどれくらいついていたのか」と自分自身に問いかけることを繰り返しました。このことで、生徒は**自分の未来**とつながることができたと思います。

このように、2学期のテーマである「つながる」という視点から大きな収穫を得て、成長することができました。もちろん課題もあります。成長を自信にし、改善を図りながら3学期につなげていきたいと考えています。保護者、地域の方には本校教育にご理解とご協力をいただき、本当に感謝しております。3学期もよろしくお願いいたします。

## 日常の成果がでた2年修学旅行 時間ばっちり



12月4日から6日までの3日間、2年生は奈良、京都、神戸へ修学旅行に行ってきました。この3日間で1番驚いたことは、「時間を守る」ということでした。集合時刻前には全員集合することができ、余裕を持って活動することができました。次に食事です。「こんなに食べてくれてうれしいです」とホテルの方からも言われました。日頃の学校生活でできていることが校外でもできていました。本物です。また、2日目の京都での班別研修の際には、外国の人へのインタビューを積極的に行うという行動力も発揮し、キャリアの力をつけていました。全体的に「脱皮しかかっている」、もう少しで次のレベルに達しかかっているという印象を持ちました。解散式では「脱皮するのか、しないのか、君たち次第」と2年生に言いました。この修学旅行で得られた成果と課題を糧に来年度、そして未来に向けて成長してほしいものです。頑張り2年生!!

保護者の皆様には、寒い中、送迎していただきありがとうございました。



## 二部活動等の結果二

- 福岡県スピーチコンテスト出場 仁木美里 (3年)
- 福岡県アンサンブルコンテスト 金管八重奏 銅賞
- 女子卓球 新人筑豊大会 優勝 (県大会へ)
- 筑豊地区アンサンブルコンテスト 金賞 金管八重奏 (県大会へ)  
銀賞 木管七重奏
- 男子バスケ 新人筑豊大会 4位
- 放送部 飯塚市小中学生放送コンテスト 出場

## サタデーコミュニケーション始まる

11月30日からサタデーコミュニケーションが始まりました。これは、第2、4土曜日に九工大の留学生と希望した生徒がゲームや調理等を通してコミュニケーションを深めるという取組です。今年も約20名の生徒が参加し、楽しく活動を行っています。授業で習得した英語を実践的に高めていってほしいと期待しています。



## 学級委員会と体育員会のコラボ「外で遊ぼう！」

## 今年は「ケイドロ」

昨年からの学級委員会と体育委員会がコラボして行っている昼休みにグラウンドで遊ぶ生徒を増やすための取組が今年も行われました。12日が3年生、13日に1年生、19日に2年生が行いました。今年は「ケイドロ」いわゆる鬼ごっこのようなものです。学年全員がグラウンドに集まって、楽しそうに走り回っている光景は見ている方も元気がでるものでした。

